

## 代表質問

## 各会派の代表者が市長の施政方針に対する代表質問をしました



## 真政会



(質問者：黒川 輝男 議員)

古河市の将来像「華のある都市(まち)古河」について

**問** 古河市の将来への基盤づくり、人づくり、モノづくりについて①官民連携のまちづくりプロジェクト推進をどのように進めるのか。②新駅誘致には、大堤南部の区画整理を進めなければならないが、さまざまな課題があり、大きく前進しない。どう進めていくのか。③ショッピングや公園、図書館、映画館な

ど家族そろって一日を過ごせる、にぎわいと安らぎのある拠点づくりをどのように進めるのか。④古河市の将来を担うグローバルな人材を輩出するため、教育文化の育成をどう進めていくのか。⑤各種事業の推進のために民間からの人材登用を図るべきと考えるが、市長の考えを伺う。

**答(市長)** ①官民連携によるまちづくりは大変有効な手段である。民間事業者の意向等を把握する機会を増やして市へ関心を持ち、まちづくりへ協力いただけるよう取り組んでいく。②住民の意見を聞きながら、できるところから一步一步前進させ、新駅誘致および区画整理を含めたまちづくりの実現につながる

よう取り組んでいく。③官民連携を念頭に、法規制の対応や事業手法、民間資金の活用などさまざまな視点から検討し、進めていきたい。④グローバルな人材を輩出する意味でも英語教育が重要だと考えている。市では文部科学省より教育課程特例校の指定を受け、小学1年生から中学3年生まで切れ目のない英語教育を進めている。⑤内閣府の地方創生人材支援制度を活用し、民間企業で培われた経営感覚、スピード感覚を生かしながらまちづくりに取り組んでいける人材の登用を検討している。



## 古河市公明党



(質問者：高橋 秀彰 議員)

情報格差への対応等について

**問** 情報格差に対応する民間企業と連携したデジタル弱者への施策について伺うとともに、誰もが最低限度の情報通信技術(ICT)を活用できる環境を保障する「デジタル・ミニマム」の理念に基づく、誰一人取り残さないデジタル社会の実現が不可欠と考えるがどうか。

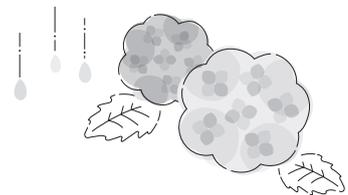
**答(市長)** 市のIT戦略プランにデジタル弱者に向けたスマホ講習会等の開催を盛り込んでいる。デジタル社会の恩恵を全ての市民が享受できるよう、デジタル・ミニマムの理念を踏まえ、施策を展開していく。

## ヤングケアラー等を支える地域共生社会づくりについて

**問** ヤングケアラー等を支える地域共生社会づくりのための実態調査の概要について伺うとともに、支援の手が、行き届くよう民間団体も含む関係機関が制度や分野の垣根を超えて連携する体制等について伺う。

**答(市長)** 国の実態調査報告では、市の実態は十分につかめて

いない。個別の事例を把握するため、市内小中学校の教職員等を対象とした独自の調査を検討している。また、官民協働の関係づくりを構築していくことが地域共生社会の実現に向けては重要であり、双方が意見交換できる機会をつくりたい。



## 《その他の質問》

- ・重層的支援体制整備事業について
- ・新たな子育て拠点施設の整備について
- ・新公会堂の再建について
- ・観光協会の法人化について